キャラクター名

No.3(トライス)

プレイヤー名

ポジション	ホリック	**享年**	10歳
メインクラス	バロック	**暗示**	反転
サブクラス	ロマネスク	**寵愛点**	47

初期配置	煉獄
最大行動値	12

能力値	**クラス**	**修正**	**合計**
武装	0	0	0
変異	2	1	3
改造	2	0	2

記憶のカケラ	内容
64：凌辱	
57：双子	
異形花	どこから手に入れた、奇妙な植物の芽を育てた。植物は見る見る育ち、あなたよりも大きく成る。それは、ある日動き出し、あなたの隠したかった人を次々と……襲らえ、殺し、喰らった。あるいは、あなたも食べられたのか？
獣	真っ赤な血の色、吐き気を誘う鉄のにおい、耳にこびりついて離れない悲鳴。獣だ、化け物だ。人々を弄び、容赦なく食い、そして殺す獣。あなたはそんな獣がいたことを知っている。
最初の目覚め	初めて獣戦に参加した時の事はハッキリとイメージ出来、それ自体も「作った」のだと感覚にとらわれるほどだった。無我夢中だったとも言えるが、初めて遭遇する敵であり、初めて武器を使用するにも関わらず、まるで体が覚えているかのように動き、敵を倒す事ができた。それは、あまりにも自然な動きだった。しかし、その感覚は、全ての戦闘が終了した後に、初めて恐怖へと変わった。
血雨	人を殺すの嫌いだった。人に手を掛けず、傷つく、傷いでやる、時間のことだけを、一番嫌う、格好悪いからってだってだってない、主のために選び選び、選ばれた時からのアーティストを誇りて、とても義ました。殺戮業にまるごとだって自負した。この時までは。
鏡	生まれて初めて経験した死だった。月明星輝を浴びながら、生命の尊さに感じ入る、最初の戦闘を大量の死体に変換するまで。なぜ生きているのか？なぜ殺すのか？なぜ死ぬのか？それらの答えが明らかになる。初めて獣戦を終了した生命体を見たときに、その獣戦を終える。

未練				
対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
アイリス	執着	3	①②③④⑤	
ヒトモシ	憧憬	2	①②③④⑤	
うた	憧憬	3	①②③④⑤	
ゾンビクイーン	依存	1	①②③④⑤	
		2	①②③④⑤	

マニューバ							
タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		衝動		オート	効果参照	自身	1ターンに1回、自身が使用するマニューバの宣言時、通常のコストを支払う代わりに、任意の未練に狂気点1点を加えることでコストとしても良い。
メインクラス		怪力		オート	なし	自身	肉弾・白兵攻撃におけるダメージ+1
メインクラス		狂鬼		オート	なし	自身	肉弾攻撃マニューバの攻撃判定において、出目を+1にしても良い。
メインクラス		歪極		オート	なし	自身	このスキルを追加した際、レベル3変異パーツを追加で1つ獲得する。このパーツは強化値に縛られず、修復することも可能である。
サブクラス		死の舞踏		ジャッジ	0	自身	攻撃判定のサイコロを振り直す。
サブクラス		時計仕掛け		オート	なし	自身	このスキルを追加した際、レベル3改造パーツを追加で1つ獲得する。このパーツは強化値に縛られず、修復することも可能である。
サブクラス		円舞曲		ラピッド	1	自身	ターン終了まで、あなたを対象とするすべての攻撃判定の出目-1(全体攻では、あなたへの判定値のみ-1)。重複しない。
頭		のうみそ		オート			2
頭		めだま		オート			1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
頭		双子のめだま		オート	なし	なし	色の違うめだま
頭		けもみみ		オート	なし	自身	最大行動値+1。大失敗しても損傷しない。
頭		よぶんなあたま		オート	なし	自身	最大行動値+2
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援 1
腕		かた		アクション	4	自身	移動 1
腕		ワイヤーリール		ラピッド	3	0〜2	移動1
腕		アームバイス		ジャッジ	1	0	支援2か妨害2
胴		アーマースキン		ダメージ	0	自身	防御1
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ 1 つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		はらわた		オート			
胴		どろどろ		ダメージ	1	0〜1	自身がダメージを受けた際、そのダメージを与えた対象にのみ使用可。肉弾攻撃2
脚		ほね		アクション	3	自身	移動 1
脚		ほね		アクション	3	自身	移動 1
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害 1
脚		にくむち		アクション	3	0〜1	肉弾攻撃2+連撃1